

山陰門推協会報

第20号

ともしび

発行
浄土真宗本願寺派・山陰教区
門徒推進員連絡協議会
代表者 福原 一 宇

事務局
〒690-0002 松江市大正町443-1
本願寺山陰教区内



第 4 連区門徒推進員実践運動研修会 (山陰教区担当・玉造温泉)

内容

2	7 頁	寄稿
8	頁	新門徒推進員紹介
9	頁	門徒推進員連絡協議会・会則
13・11	頁	事業報告・事業計画
14	頁	「私たちのちかい」について
		の親教
		門徒役員名簿・お知らせ

新たな時代を迎えて

山陰教区教務所長 佐々木 了 慎

本年四月一日付、山陰教区教務所長・本願寺山陰教堂主管として着任いたしました。何卒よろしくお願い申し上げます。
山陰教区は全国でも有数の門徒推進員登録者を数える教区です。今日、社会情勢が著しく変化し、お寺を取り巻く環境も大変厳しさを増しております。そのような時代の中で、門徒推進員の皆様の行動力・ご尽力によって、それぞれのご寺院、また、山陰教区、さらには宗門並びに本山本願寺の活動が支えられ、推進されておりますこと、心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

五月一日に元号が「平成」から「令和」に改元されました。
新たな時代を迎えた中で、宗門でも先頃、来る二〇二三(令和五)年の三月から五月にかけて、「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」が修行される旨、治定されました。親鸞聖人のご苦勞を偲びつつ、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくための機縁ともなる法要です。現在修復中の国宝阿弥陀堂の内陣や唐門も、慶讃法要の際には創建当時の美しい輝きをもって参拝者を迎え入れてくれることと思っております。皆様と共に参拝させていただける時を今から楽しみにしております。

今後も聞法につとめられ、いのちあるものすべてに平等にそがれ、煩惱具足の私を決して見捨てられることがない阿弥陀如来の願い・お慈悲のみ教えに生かさず慶びつつ、自他共に心豊かに生きていくことができる社会の実現に貢献すべく、精進させていただきます。

会長就任挨拶

松江組 明宗寺 福原 一字

前会長は残念ながら任期途中で辞任の意思を示され、昨年十二月後任を任せられました松江組明宗寺の福原でございます。

門徒推進員に登録され十年、経験が浅く未だ右も左も分からない未熟なこの私でございます。五教区から成り立っています第四連区の中でも、山陰教区の会員数は群を抜き多くの会員さまが在籍されております。ご存知とは存じますが当教区は二十の組から成る連絡協議会がございます。その二十のいずれの組にも門徒推進員さまが登録されております。これも偏に会員さま並びに組会の方々の地道な努力による賜物であると存じ、先人達のご苦勞に唯々頭

が下がる思いでございます。

組連研並び中央教習ではひたすら話し合い法座の明け暮れでありました。それは「私たちに聴く事と、聞いた事を正しく伝えることが出来る能力を身につける」修練の場であったのだと思っております。

後世に「浄土真宗の救いよろこび」を正しく伝えることが出来るよう、これから後もお聴聞を大切にするとともに「少欲知足」「和顔愛語」の生き方を、皆さま方と共に歩んで行きたいと存じます。前会長の残された任期間ではありますが、山陰教区連絡協議会の皆さま方のご協力を心よりお願い申し上げます。

合掌

平成三十年度 山陰教区門推協総会・研修会

鳥取伯耆組 香寶寺 新川 裕 二

七月二十八日、山陰教区から七十五名の参加のもと、山陰教堂に於いて、総会と研修会が行われました。

総会では、平成二十九年事業・決算報告、平成三十年事業計画・予算案が協議・承認されました。十月末に玉造で開催する第四連区の実践運動研修会に向け、三村会長はじめ新役員の報告もあり、新年度がスタートしました。

午後は、山陰教区研修講師・江津組光善寺の波北頭住職による『ご親教「念仏者の生き方」に学ぶ』というテーマで、ご法話を頂きました。

私なりに、心に残ったのは、私たちのありのままの姿は、

「諸行無常」「縁起」で表され、真実に背いた自己中心性であ

る無明煩惱が私たちを迷いの世界につなぎとめる原因になっていること。その煩惱を克服する生き方として「少欲知足」「和顔愛語」の生き方の大切さをお話されました。

御門主様の、ご親教は、浄土真宗全体が、私たちにもわかりやすく語られていて（私の理解の中ですが）、多くのことを学ばせていただきました。自他ともに心豊かに生きることをできる社会の実現に向けて、お寺のみならず、自分の関わっていると、もっとも、更に学びつつ、広げていきたいと思えます。南無阿彌陀仏！

教区門推実践運動研修会

教区実践運動研修会参加

飯南組 西正寺

田部 五月

去る三月三日、山陰教堂で開催された実践運動研修会に参加させて頂き、その様子や思ったことについて述べさせて頂きたく思います。

今回研修会は、はじめに教務所長 高橋様のあいさつがあり、引き続き江津組 長玄寺住職 岡本広樹師の「念仏者の生き方」について法話がありました。これまで何回となく、このご親教について話を聞きましたが、この度は解り易く有意義でした。

今回の研修会は、連研と同じく話し合い法座が主でありました。

「迷わなくて生きて生きて

れるか」、「間違いがなくて生きられるか」、「何がきっかけで聴聞するようになったか」

のテーマで八班に分かれ午前午後とも話し合いました。私は二班で話し合いをしました。聴聞するようになったきっかけ、多くは家族、友人等が亡くなられて、そのとき住職さんのお誘いがあったとお寺とのご縁ができたようです。門徒推進員として、何が出来るかではありますが、難しい事を求めれば、中央教修への参加を敬遠されると思います。もつと気軽に中央教修に参加され、一人でも多くの門推の仲間が増えること、それが一番のお手伝いであると感じ、研修会への参加の感想とします。

第四連区門徒推進員実践運動研修会

出雲組 妙壽寺

榎野 博巳

今年度の第四連区門徒推進員の研修会は、山陰教区が主幹で十月二十七日から二十八日まで玉造温泉で行われました。

研修会の参加者は、中四国地方より一四九名の門徒推進員の方が大型バスやJRで参加いただきました。

研修会のテーマが、今日的課題である「次世代育成について」でした。

全体会では、子ども・若者ご縁づくり推進室担当部長の榮俊英師から講義をしていただきました。

「昔は、仏教は家庭の中にあり、お仏壇、お念仏を申すのは当たり前のことでした。しかし現代は、核家族を通り越し、

ホテル家族という言葉が出現するなど、家族の一人一人が孤立する傾向にあり、お寺にお参りするとか、手を合わせお念仏申すなど皆無となりつつある」と話されると、我が家を振り返って、頷く場面も多々あり、家族ぐるみで、お念仏のご縁にあうことの大切さについて考えさせられました。

また、話し合い法座では、中四国地方のいろいろな方が、積極的に門徒推進員の活動を話されるのを聞きながら、ますますお寺とのご縁を大切にしていきたいと感じました。夜の交流・懇親会では、地元のア来節や銭太鼓でおもてなしをすることが急ぎよ決まり、地元の良さを皆さんに楽しんでいただきました。

来年度は、備後教区で開催

されます。山陰教区からもたくさん参加しましょう。

平成三十年度第四連区
門徒推進員研修会に参加して

邑智西組 浄蓮寺

小松 満雄

十月二十七日・二十八日、標題の研修会に参加しました。今回は山陰教区のお世話で松江玉造温泉松の湯に、山口・芸・四州・備後・山陰各教区の門徒推進員一五〇名が集いました。

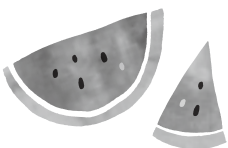
テーマは「次世代育成について」。講師は子ども・若者ご縁づくり推進室部長榮俊英先生で、基幹運動は昭和二十五年の始まり、門徒推進員養成連続研修会は昭和五十三年から、親鸞聖人七五〇回大遠忌・新門主就任に至る西本願寺主要事業のこと。親鸞聖人のみ教えを日常生活、平素の法要・



報告でした。今回の研修会で心に残るのは、平成二十七年全国で七万七千のお寺で、無住職二万ヶ寺・宗教活動停止二ヶ寺もある。十年後どうなるでしょう。

講師は皆さんの悩みも判りましたが御院家にも悩みがある。仏教を一言でいえば「鏡の如し」。私の姿行動がそれでいいの？・よかったねと正直に映し出される。また仏教には「入学式はあるが卒業式はない」。苦しい時代だけど一つ一つ行動し積み上げてゆこうでした。

次年度は備後教区で開催されます。意を新たに実のある研修会でした。最後に関係下さった大会役員、講師先生に深謝します。



寄稿

共に歩もう

講師も一緒に勉強です

鳥取因幡組 浄宗寺住職

片上 義明

今回で第十期が終了しましたが、ある程度知識のある人もいれば白紙状態の人もいたり、中には「もつと勉強したい」という理由で再受講された人もいたりで、多岐に渡った受講生がいた第十期の連研でした。

ところで、鳥取因幡組の連研はテーマを独自に決めており、その都度担当する講師も変わります。したがって受講生は十二ヶ寺の住職から講義を受けることになるわけです

寺院行事の中で工夫し子どもや若者に対応しようと、力強い講話でした。その後七つの分科会で、門推員になる動機や何をして来たか・悩みなど話し合い、同志の親近感を深めました。懇親会の夕食が楽しみで各教区の出演で賑わいました。

翌日は各教区特徴ある活動

が、講師側にしても得意なテーマもあれば不得手なテーマが当ることもあります。確かにどの住職も教義に関する知識は持っていますが、「知っている」こととそれを「分かりやすく伝える」ことは別のものであり、しかも相手が白紙状態の人ならば尚更難しいことです。よく「専門用語を使っ

て得意げに説明する人がいるが、実際はまったく中身が相手に伝わっていないことも多い」ということを聞きますが、このことは連研の講師にも言えるのではないのでしょうか。

連研は「仏教や浄土真宗の教義をもっと知りたい」と思う人に対して講義する場ですが、実は講師である僧侶自身も不得手なテーマを勉強するだけでなく、相手により分かりやすく伝えるために話の進め方や内容の取捨選択、果ては話し方に至るまでに常に心

がけていなければならぬ場面もあるのです。その意味では「子どもと一緒に親も成長させてもらう」という言葉と同様に、講師も一緒に勉強しているのだということを含めて胸に刻まなければ何の意味もない研修会になるのではないのでしょうか。

門徒推進員の役割について

江津組長

山本真文

一九七八(昭和五十二年)、門徒推進員養成のための組連研第一期が始まった時、受講者約七〇名を前にして問題提起を担当した組内住職が身体も声も震えながら『神・神棚・神社』について話をされていたことを思い出します。ノートAは、いきなり『神』がテーマでした。

連研は、受講する方も指導

する方も覚悟が要るし、ナマクラ住職の『信心』が試される場でもあります。『ヤスクニ』がテーマに入ったのはノートDからではないかと思えますが、その頃から『神』『ヤスクニ』を避けて連研を実施する組が多くなったと思います。

真のお念仏者を育成するための研修は『神』『ヤスクニ』を避けて成立するものではありませんし、正面から取り組むべきでありましょう。

江津組では組連研において、門推員が受付・司会・調声・班別話し合いの議長役などを担当し、自らの学びを深め、真のお念仏者としてのお育てを頂く場として積極的に関わり、実践運動推進の中心的役割を果たすことをめざして活動しています。

組の門徒推進員のみなさんと

飯南組 真向寺住職

吉川光城

飯南組では現在二十九名の門徒推進員の方がおられます。組で門徒推進員連絡協議会を組織し、毎年の総会・連研開催期間中にスタッフとして参加・組の子ども報恩講のスタッフというのが主な活動です。

私が最も深い関わりいただいているのが、総会に引き続き行われる研修会です。約十年近くその講師を担当させて頂いています。普段様々な場面で一緒にいる方が多いため、テーマや内容をどうするか最初からとても苦労しました。確か三回目くらいの時に「どんな内容がいいですか?」と思い切っけて尋ねてみると、会長をはじめ役員の皆さんで相談し、提示して下さるよう

になりました。また、テーマが浮かばない時は「連研ノート」の問いのいずれかをテーマにするようになりました。

研修会は私が一方的にお伝えする形で進みますが、その後の懇親会では、参加された方のほうから思いを伝えに来て下さいます。その場合は、お酒を交えての「話し合い法座(?)」となります。

私にとつて、学ぶ・伝える・聞くチャンスは短時間で一度に頂ける貴重なご縁となっております。かつて恩師から「門徒推進員の方が、ただそばにいて下さるだけで、僧侶は必ず育つ」と仰ったことを毎年この総会で有難く・楽しく実感しています。



寄稿

新会員の声

これからを、どう生きるか

飯南組 乗空寺

岸 光 研

一昨年十月からの連研に参加し運よく十二回の講座とも出席することが出来ました。その後住職からの勧めもあり、二月八日からの中央教修に参加しました。

全国各地から四十数名の参加があり、多くの出会い交流があり貴重な体験をさせていただきました。

班別の話し合い法座では、テーマごとに様々な社会問題について日頃話すことのないような本音で意見を交わすこ

とが出来、またそれぞれの日常生活での悩みや苦労などを聞き、自分自身と重なるところも多くあると感じました。

私たちは多かれ少なかれ悩みを抱えて生きています。そういつたなか、何か頼りにしたいもの心の拠り所としての浄土真宗のみ教えを改めて認識しました。現代においてネット

化を遂げ物質的には、豊かな暮らしを享受してきています。しかし古来より受け継がれ失ってはならないものも多くあるうと思えます。これからは門徒推進員としての自覚を持って、お寺と共に心豊かに生きてゆくことの出来る社会の実現に努めて行きたいと思えます。

最後に今回の教修で問題提起で講師が述べられ、特に印象に残ったことばを記します。

子どもは、静かな落ちつきの中で育つと、平和な心を持

つようになる。子どもは、安心感を与えられて育つと、自分や人を信じるようになる。子どもは、親しみに満ち雰囲気の中で育つと、生きることが楽しいことだと知る。子どもは、まわりから受け入れられて育つと、世界中が愛であふれていることを知る。

ドロシー・L・ノルテ
「子どもは大人の鏡」より

中央教修での有難いご縁

出雲組 東林寺

杉 谷 紀 子

第二六二回門徒推進員中央教修に平成三十年九月七日〜十日までの三泊四日の日程で受講しました。数日前に関西方面でも災害が有り本山でも被害がありました。スタッフの皆様のご努力により無事開催され感謝致します。

何度も総代さんから声を掛

けていただき今回決心し一人では不安もあり、親しい門徒さんと一緒に参加が出来有難く皆様に感謝です。

三日目の決意表明はごなとも感激された事と思えます。今でも思い出されます。この感激は一生心の中に残るものです。多くの門徒様にも味わって頂きたいですね。

私の班は女性が一人で、とても素敵な方で同じ感覚で物事を受け止められる方で今でも連絡しています。修了後もスタッフの方々とご縁を頂いて、邑南町の長円寺様の報恩講にもお参りさせて頂き、後日仏婦の活動としてお斎の講習体験も楽しくさせて頂きました。又中央教修でのご縁を頂き、御講師の方々との繋がりが広がり年間の法座が楽しみになり、これからも中央教修を受講される様に、お声掛けを積極的に行ないたいと思います。

門徒推進員は資格ではなく自覚

大田東組 真浄寺

加藤 裕治

中央教修が門徒推進員になるための教修であることすら知らなかった私は、ただ「京都」や「本山」に行ってみたことの軽い思いで中央教修に参加しました。

こんな私ですので、見るもの、聞くもの全てが新鮮でした。特に本山晨朝での正信偈は、荘厳な雰囲気の中で沢山の僧侶により行われ、その声量には圧倒されました。そんな中で自然に自分の背筋が伸び、声が大きくなったの思い出します。

沢山のお話も聞きました。が、その中で「門徒推進員は資格ではなくて自覚です。」の言葉が印象に残っています。私の家には仏壇がありません。

あるのは本山からお招きしたご本尊だけです。そんな私に「門徒の方々の推進役」など考えただけでも恐れ多いと思っていました。が「自覚」なら自分に無理なく活動ができそ



先日の話です。長男の保育所で仲良くなった皆さんと、子連れで集まってバーベキューをしていました。

一人の女の子がお菓子を持ってきてくれ、思わず口から「ありがとうね。ようこそ。」と出ました。それを聞いた東京出身のお母さんから、「ようこそ、ってどういう意味？ この辺で時々聞くけれど。」と尋ねられました。「ようこそ」は出雲弁かなあ、とその場に居た出雲出身のお母さんと話しつつ、自分はお寺で「ようこそお参りです。」と挨拶するのが身についていて、何かお礼を言う時、無意識のうちに「ようこそ」と言

「ようこそ、ようこそ。」 出雲組 妙壽寺 坊守 山崎 花子

うです。決意表明式でも「…聴聞にはげみます。」と宣誓しました。これから多くの先輩方のお話を聞きながら新米の門徒推進員として精進していきたいと思えます。

つてしまうのだと思う、と、話しました。私も京都から嫁いで13年。当初は出雲の言葉が分からず、聞き返してばかりでしたが、ご門徒さんに何度も教えて頂き、自分でも知らないうちに出雲弁が身について来た様に思えます。

家に帰り、ふと、私が「ようこそ」と言う場面はどんな時だろうか？ と考えました。季節のお野菜を頂いて「ようこそ」、気がつかなかった事を指摘して頂いて「ようこそ」、お参り頂いた後ろ姿に「ようこそ」…。私に「ようこそ」という言葉を教えて下さったのは、ご門徒さんのお姿そのものかもしれません。お母さん友達との他愛もない会話から、そんなことに気づかせて頂いた、ある日のことでした。

登録番号 19780

- ①竹下 明
- ②神門組 長泉寺
- ③門徒の1人として寺のため門徒様のために健康な体を使い汗を流し自分にしかできない技術で奉仕に努めたい。

登録番号 19781

- ①森山俊則
- ②大田東組 正藏坊
- ③仏教の意味すら知らなかった私が、今生で大悲の願船に乗せて頂けるよう聴き求めています。御教示下さい。

登録番号 19782

- ①渡部誠治
- ②出雲組 宗玄寺
- ③阿弥陀如来の尊前でお誓いした「積極的に地域の実践運動に参画し、心豊かに生きていけるよう努めます。

登録番号 19783

- ①原 利行
- ②出雲組 覚専寺
- ③礼賛文を旨に、浄土真宗の生活信条を唱え、自覚を持って日々の生活を送ります。

登録番号 19784

- ①岸 光研
- ②飯南組 乗空寺
- ③これまで多少なり寺の活動に参加してきましたが、これからも門徒推進員としての自覚をもって取り組めます。

登録番号 19785

- ①叶松康子
- ②飯南組 真向寺
- ③一年間の連研と中央教修で多くのご縁をいただきました。このご縁の喜びを橋渡しができる様努力致します。

登録番号 19786

- ①澤田郁子
- ②飯南組 真向寺
- ③阿弥陀如来様のお声として聞くお聴聞、「自分らしく、心豊かに、穏やかに」を願い、ご縁づくりに努めます。

登録番号 19787

- ①田中恵子
- ②大田東組 松林寺

登録番号 19788

- ①加藤裕治
- ②大田東組 真浄寺
- ③阿弥陀様の前で宣誓した「慈悲の気持ちを持ち、聴聞に励みます。」を肝に銘じ、見聞を広めます。

新しく門徒推進員になられた方々

※掲載順は登録番号順

登録番号 19772

- ①小林一夫
- ②出雲組 東林寺
- ③中央教修に参加して、仏壇に向かって、手を合わせる事が日常でした。改めて教修に参加して他の参加された方の意見を聞いて自分の甘さを感じ、より勉強をし、ご縁を繋ぎたいと思います。

登録番号 19773

- ①小林光庫
- ②出雲組 東林寺
- ③お寺の行事や法座に積極的に参加し阿弥陀如来の智慧と慈悲を我が身に落とし念仏と共に歩いていきたいと思えます。

登録番号 19774

- ①杉谷純子
- ②出雲組 東林寺
- ③中央教修でのご縁を大切にしつつ門徒推進員として仏婦の活動の手助けが出来ます様に努力を致します。

登録番号 19775

- ①田中 満
- ②神門組 乗光寺
- ③朝な夕なに仏壇に向い手を合わせると心のやすらぎを覚えます。み教えの有難さを皆様と共に頂きたく思います。

登録番号 19776

- ①曾田敏浩
- ②出雲組 源光寺
- ③或る御縁で連研、中央教修に参加し沢山の出会い学びがあり、今後は沢山の門徒様にお寺への御縁造りに励みます。

登録番号 19777

- ①中村博明
- ②出雲組 源光寺
- ③自他ともに心ゆたかに生きていくと共に、門徒の皆様方にお寺にお参りしていただけるよう尽力します。

登録番号 19778

- ①石飛安弘
- ②出雲南組 福泉坊
- ③これから先の人生、阿弥陀さまに向き合う時は門徒推進員としての立場を自覚し行動したいと思います。

登録番号 19779

- ①江角美枝
- ②出雲組 覚専寺
- ③多くの方に出会い、心に響く話を聞かせていただいた研修。この縁に感謝し、大切にしていきます。

質 問

- ①氏名
- ②所属寺
- ③門徒推進員としての決意

登録番号 19765

- ①奥村京一
- ②神門組 長楽寺
- ③私は特定行政書士として社会と関わっています。その活動を通して宗門の通り実践運動に取り組みます。

登録番号 19766

- ①渡部真司
- ②出雲南組 福泉坊
- ③阿弥陀さまの前で誓った決意を自覚し、聞法に足を運ぶように努めます。

登録番号 19767

- ①福場達夫
- ②出雲南組 福泉坊
- ③中央教修を受講し、自分が門徒としてどうしていいかを考え、お寺と関わりながら、精進したいと思います。

登録番号 19768

- ①大庭孝一
- ②益田組 専光寺
- ③浄土真宗のみ教えを抛りどころに多くの皆様にお寺に来ていただける様に護持活動に努めていきたいと思えます。

登録番号 19769

- ①郷田隆年
- ②益田組 専光寺
- ③親鸞聖人の教えについて研鑽し、推進員を縁として、心から自然に念仏を称えられるように努めたい。

登録番号 19770

- ①野稻和男
- ②益田組 専光寺
- ③261回中央研修での帰敬式を受け浄土真宗の教えの中で生かされている事を自覚し門徒推進員として精進して参ります。

登録番号 19771

- ①尾添弘美
- ②出雲組 妙壽寺
- ③ご縁あって皆様と活動させて頂く事になりました。精一杯努力をして、自己研鑽に努めたいと思っています。

山陰教区門徒推進員連絡協議会・会則

〔名称〕

第1条 この会は「山陰教区門徒推進員連絡協議会」という。(以下「この会」という)

〔事務局〕

第2条 この会の事務局は、山陰教区教務所に置く。なお、この会に関する山陰教区教務所における事務局(事務・会計)は、山陰教区教務所職員に委嘱することとする。

〔目的〕

第3条 この会は、山陰教区内の門徒推進員相互の連帯、及び親睦を図り聞法者としての自覚と研鑽に努め、また門徒推進員の役割を果たすと共に、宗門の実践運動推進のための活動を行うことを目的とする。

〔活動〕

第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- 1、教区の実践運動に参画し、門徒推進員としての活動に努める。
- 2、研修会、法座活動、会報発行など目的の実現のための各種活動を行う。
- 3、門徒推進員の養成に関する活動を行う。
- 4、所属寺院における諸行事への参加、各教化団体と連携のもと、寺院の興隆に努める。
- 5、その他、必要とする活動を行う。

〔構成〕

第5条 この会は、門徒推進員の登録者をもって構成する。

- 2、この会を退会・休会するとき
- は、所定の用紙(様式1・様式

2)にて手続きを行うこととする。

〔役員と任期〕

第6条 この会に、次の役員を置く。
会長 1名
副会長 1名
理事 若干名(事務局担当1名・会計担当1名を含む)
監事 2名

2、役員は任期は2年とし再任を妨げないものとする。なお、役員に欠員を生じ、その後任となつた役員は、前任者の残存期間とする。

〔役員を選任〕

第7条 この会の役員を選任は、次のとおりとする。
1、理事は各単位組の門徒推進員協議会で選出された会員とする。なお、理事の員数は次の通りとする。ただし、組の門徒推進員協議会が未結成のときも、下記に準じて理事を選出する。
(1)単位組の会員数49名まで 1名
(2)単位組の会員数50名以上 2名以内

2、会長・副会長は、理事会における理事の互選による。
3、事務局担当理事は、会長が理事の内から委嘱する。
4、会計担当理事は、会長が理事の内から委嘱する。
5、監事は、会長が会員の内から委嘱する。

〔役員職務〕

第8条 役員職務は下記の通りとする。

- 1、会長は、この会を統括し代表する。また、山陰教区教務所長

の承認を得てこの会の運営にかかる会議などを招集する。

2、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
3、理事は、この会の運営にあたる。

4、事務局担当理事は、この会の事務全般を所掌する。
5、会計担当理事は、この会の会計全般を所掌する。
6、監事は、この会の会計を監査する。

〔顧問・参予〕

第9条 この会に顧問、及び参予を置くこととする。

1、顧問は、山陰教区教務所長とし、この会への助言または指導をいただくこととする。
2、参予は会長経験者とし必要に応じてこの会への助言などを行う。

〔会議〕

第10条 この会の会議などは、次の通りとする。

- 1、総会は会長が招集し、毎年1回開催しなければならない。
- 2、理事会は、必要に応じて会長が招集し、この会の運営にあたる。なお理事会はこの会の決定機関とし、議決は出席理事の過半数をもって決定する。
- 3、役員会は、必要に応じて会長が招集し、会長、副会長、事務局担当理事および会計担当理事で構成する。
- 4、会計監査会は必要に応じて会長が招集し、この会の会計を監査する。

5、会長は、前各項以外で必要とする会議を開催することができる。

〔会計〕

第11条 この会の会計は次の通りとする。

- 1、この会の経費は、会員の拠出による会費及び山陰教区からの助成金、またはその他の収入をもって充当する。
- 2、この会の会員が退会または休会したときは、当該年度をもって会費の納入が終わる。
- 3、この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 4、この会の予算・決算は理事会の承認を得て、総会に報告するものとする。

〔会則の改定〕

第12条 この会則の改定は理事会において会則第10条の2により議決し、総会に報告するものとする。

〔付則〕

- 1、この会則は、1996(平成8)年8月1日から施行する。
- 2、この会則は、1999(平成11)年4月28日に施行する。
- 3、この会則は、2000(平成12)年10月31日に施行する。
- 4、この会則は、2013(平成25)年6月7日に施行する。
- 5、この会則は、2015(平成27)年12月8日に施行する。
- 6、この会則は、2016(平成28)年12月27日に施行する。

2018年度 山陰教区門徒推進員連絡協議会 事業報告

期 日	事 業 名	事 業 内 容
5月8日(火)	監査会 ともしび編集委員会	2017(平成29)年度 会計監査 「ともしび19号」編集会議
6月5日(火)～6日(水)	第4連区門推協連絡協議会	【担 当】山陰教区 【協議内容】連区実践研について
6月8日(金)	理事会	平成29年度事業決算・平成30年度事業予算について
7月9日(月)	ともしび編集委員会	「ともしび19号」編集会議
7月28日(土)	平成30年度『総会・研修会』	【会 場】山陰教堂教化センター 【講 師】波北 顕師 【講 題】ご親教「念仏者の生き方」に学ぶ
9月24日(月)・25日(火)	門推代表者協議会	聞法会館(会長出席)
10月15日(月)	理事会	第4連区門推実践研修会運営について
10月26日(金)	連区門推研修会準備	
10月27日(土)～28日(日)	第4連区 門徒推進員『実践運動研修会』	【担 当】山陰教区 【会 場】玉造温泉 松乃湯/ゆ～ゆ 【講 師】榮 俊英師・佐和田 裕師 【テーマ】「次世代育成について」
12月13日(木)	理事会	実践運動研修会について
3月3日(日)	『実践運動推進研修会』	【会 場】山陰教堂教化センター 【講 師】岡本 広樹師 【講 題】念仏者の生き方
3月24日(日)	連研履修者研修会	【会 場】佐波組法光寺 【テーマ】念仏者の生き方 【講 師】玉野 覚明師

2018年度 山陰教区門徒推進員連絡協議会 一般会計歳計決算

▷歳入

款 項	平成30年度決算額	平成30年度予算額	対比△減	説 明
1 会 費	504,000	525,000	△ 21,000	
1 今年度会費	504,000	524,000	△ 20,000	会員1,000円×504名
2 過年度会費	0	1,000	△ 1,000	
2 助成金	50,000	50,000	0	教区助成金
3 参加費	844,000	950,000	△ 106,000	
1 総会・研修会	73,000	100,000	△ 27,000	1,000×73名
2 実践運動研修会	74,000	100,000	△ 26,000	1,000×74名
3 連区実践研修会	697,000	750,000	△ 53,000	49名分参加費
4 雑 入	5	542	△ 537	預金利子
5 前年度繰越金	762,458	762,458	0	平成29年度繰越金
合 計	2,160,463	2,288,000	△ 127,537	

▷歳出

款 項	平成30年度決算額	平成30年度予算額	対比※超過	説 明
1 事業費	915,788	1,210,000	294,212	
1 総会・研修会	95,663	230,000	134,337	総会・研修会開催経費
2 実践運動研修会	123,125	230,000	106,875	実践運動研修会開催経費
3 連区実践研修会	697,000	750,000	53,000	第4連区実践運動研修会参加費 (教区門推特別会計へ)
2 広報費	130,680	120,000	※10,680	ともしび印刷経費(1,100部作製)
3 会議費	348,800	460,000	111,200	
1 理事会費	180,250	250,000	69,750	理事会経費(3回分)
2 編集会議費	31,050	30,000	※1,050	ともしび編集会議費
3 監査費	17,500	25,000	7,500	監査経費
4 各種研修会費	120,000	155,000	35,000	連区協議会・連区実践研にかかる役職者参加経費
4 通信費	13,055	40,000	26,945	各種案内・通信費
5 事務費	4,250	40,000	35,750	事務経費
6 交通費	11,700	80,000	68,300	各種研修会、協議会にかかる役職者交通費
7 回 金	0	200,000	200,000	
8 予備費	0	138,000	138,000	
合 計	1,424,273	2,288,000	863,727	

歳入合計	2,160,463	「総会・研修会」にて募金いただきました37,882円を「平成30年7月豪雨」の災害義援金として山陰教区教務所へ拠出いたしました。
歳出合計	1,424,273	2019(平成31)年4月17日 会計帳簿、領収書、通帳を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。
翌年度繰越	736,190	

山陰教区門徒推進員連絡協議会 監事 渡部 ひとり
監事 田中 博司

2019年度 山陰教区門徒推進員連絡協議会 事業計画

期 日	事 業 名	事 業 内 容
4月17日(水)	監査会	2018年度 会計監査
	ともしび編集委員会	「ともしび20号」編集会議
6月11日(火)	理事会	2018年度事業決算・2019年度事業計画 予算案について
6月28日(金) ～29日(土)	第4連区門徒推進員連絡協議会	【担 当】備後教区 【協議内容】連区実践研について
7月4日(木)	ともしび編集委員会	「ともしび20号」編集会議
7月20日(土)	2019年度『総会・研修会』	【会 場】山陰教堂教化センター 【講 師】苜屋 光影師 【講 題】念仏者の生き方～門徒推進員の原点～
10月27日(日) ～28日(月)	第4連区 門徒推進員『実践運動研修会』	【担 当】備後教区 【会 場】WASHU BLUE RESORT 風籠 【講 師】鷺尾 衛法師(中央連研講師)
12月10日(火)	理事会	実践運動研修会について
3月7日(土)	『実践運動推進研修会』	【会 場】ビッグハート出雲 【講 師】 【講 題】
月 日() ～ 日()	門推代表者協議会	
月 日()	連研履修者研修会	【会 場】 【テ ー マ】 【講 師】

2019年度 山陰教区門徒推進員連絡協議会 一般会計歳計予算

▷歳入

款 項	2019年度予算額	2018年度予算額	対比△減	説 明
1 会 費	505,000	525,000	△ 20,000	
1 今年度会費	504,000	524,000	△ 20,000	会員 1,000円×504名
2 過年度会費	1,000	1,000	0	
2 助成金	50,000	50,000	0	教区助成金
3 参加費	500,000	950,000	△ 450,000	
1 総会・研修会	100,000	100,000	0	1,000×100名
2 実践研修会	100,000	100,000	0	1,000×100名
3 連区実践研修会	300,000	750,000	△ 450,000	20名分参加費
4 雑 入	75,810	542	75,268	特別会計余剰金 75,141 預金利子
5 前年度繰越金	736,190	762,458	△ 26,268	2018年度繰越金
合 計	1,867,000	2,288,000	△ 421,000	

▷歳出

款 項	2019年度予算額	2018年度予算額	対比△減	説 明
1 事業費	760,000	1,210,000	△ 450,000	
1 総会・研修会	230,000	230,000	0	総会・研修会開催経費
2 実践運動研修会	230,000	230,000	0	実践運動研修会開催経費
3 連区実践研修会	300,000	750,000	△ 450,000	第4連区実践運動研修会参加費
2 広報費	140,000	120,000	20,000	ともしび印刷経費
3 会議費	460,000	460,000	0	
1 理事会費	250,000	250,000	0	理事会経費
2 編集会議費	30,000	30,000	0	ともしび編集会議費
3 監査費	25,000	25,000	0	監査経費
4 各種研修会費	155,000	155,000	0	連区協議会・連区実践研にかかる役職者参加経費
4 通信費	40,000	40,000	0	各種案内・通信費
5 事務費	40,000	40,000	0	事務経費
6 交通費	80,000	80,000	0	各種研修会、協議会にかかる役職者交通費
7 回 金	0	200,000	△ 200,000	
8 予備費	347,000	138,000	209,000	
合 計	1,867,000	2,288,000	△ 421,000	

2018年度 第4連区 門徒推進員連絡協議会
実践運動研修会 会計歳計決算

▷歳入

款 項	決 算 額	予 算 額	対比△減	説 明
1 参加費	2,207,000	1,800,000	407,000	
1 他教区参加費	1,510,000	1,050,000	460,000	本山1 / 山口54 / 安芸23 四州 7 / 備後17
2 山陰教区参加費	697,000	750,000	△ 53,000	山陰49
2 助成金	400,000	600,000	△ 200,000	
1 宗派助成金	100,000	100,000	0	宗派より
2 教区助成金	300,000	300,000	0	教区からの助成金
3 門推助成金	0	200,000	△ 200,000	門推一般会計から回金
3 雑収入	210,000	225,000	△ 15,000	
1 雑収入	210,000	225,000	△ 15,000	第4連区協議会参加費
合 計	2,817,000	2,625,000	192,000	

▷歳出

款 項	決 算 額	予 算 額	対比※超過	説 明
1 講師費	54,782	100,000	45,218	
1 講師謝礼	50,000	50,000	0	講師謝礼(教区研修講師)
2 その他	4,782	50,000	45,218	土産・交通費
2 会場費	2,270,736	2,002,000	※268,736	
1 会場費	28,162	40,000	11,838	会場使用料(ゆ〜ゆ2日分)
2 懇親・宿泊費	2,242,574	1,962,000	※280,574	宴会・宿泊・朝食(151名分)
3 会議費	290,984	330,000	39,016	
1 実行委員会費	53,470	80,000	26,530	実行委員会経費
2 連区協議会費	237,514	250,000	12,486	第4連区協議会開催経費
4 事務費	9,724	20,000	10,276	
1 郵送費	7,200	10,000	2,800	
2 その他	2,524	10,000	7,476	事務消耗品
5 雑 費	115,633	70,000	※45,633	
1 雑 費	115,633	70,000	※45,633	封筒・カレンダー 余興謝礼・添乗員経費 保険料(151名分)
6 予備費	0	103,000	103,000	
1 予備費	0	103,000	103,000	
合 計	2,741,859	2,625,000	※116,859	

歳入合計	2,817,000
歳出合計	2,741,859
一般会計繰入	75,141

2019(平成31)年4月17日

会計帳簿、領収書、通帳を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

山陰教区門徒推進員連絡協議会 監事

監事

「私たちのちかい」についての親教

私は伝灯奉告法要の初日に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲からなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきました。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四カ条にまとめました。

わたし
私たちのちかい

ひとつ じ ぶん から と
一、自分の殻に閉じこもることなく
おだ かお やさ こと ば たい せつ
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
ほほ え かた ほとけ
微笑み語りかける仏さまのように

ひとつ
一、むさぼり、いかり、おろかさになが
しなやかな心と振る舞いを心がけます
こころやす ほとけ
心安らかな仏さまのように

ひとつ じ ぶん だい じ
一、自分だけを大事にすることなく
ひと よろ かな わ
人と喜びや悲しみを分かち合います
じ ひ み ほとけ
慈悲に満ちみちた仏さまのように

ひとつ い
一、生かされていることに気づき
ひ び せい いっ ぱい
日々に精一杯つとめます
ひと すく つ ほとけ
人びとの救いに尽くす仏さまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会でご唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

2018(平成 30)年 11 月 23 日

浄土真宗本願寺派門主 大谷 光 淳

(浄土真宗本願寺派ホームページより転載)

役員名簿

(2018年4月1日～2020年3月31日)

役職	所属組	所属寺院	名前
会長	松江	明宗寺	福原 一字*
副会長	鳥取因幡	願正寺	池原 宏*
会計担当	出雲	東林寺	岸本 邦夫
事務担当	大田西	瑞泉寺	中西 義昭*
理事	鳥取因幡	光輪寺	乾 和明
理事	鳥取伯耆	勝福寺	岡崎 岩男
理事	出雲	妙壽寺	槇野 博巳
理事	神門	願楽寺	今岡 昌紀
理事	神門	乗光寺	藤井 健蔵
理事	出雲南	常信寺	永島 長徳
理事	飯南	一念寺	柳原 陽二
理事	大田東	西楽寺	斉藤 寛
理事	邑智西	長円寺	香川 良三
理事	江津	円覚寺	山城 久邦
理事	浜田	正蓮寺	佐々岡光宏
監事	出雲	源光寺	渡部みどり*
監事	大田東	常見寺	田中 圓而

*印：ともしび編集委員

2019年度
第4連区門徒推進員
実践運動研修会日時 2019 (令和元) 年10月27日(日) 13:30～
28日(月) 11:50場所 WASHU BLUE RESORT^{かまご}風籠講師 鷺尾 衛法 先生
(中央連研講師・兵庫教区 神戸湊組 宝球寺住職)

参加費 16,000円 (全日程)

日程

- 1日目 13:00 受付
13:30 オリエンテーション
13:40 開会式
14:10 問題提起 講師 鷺尾衛法 先生
15:30 話し合い法座
17:15 夕事勤行
ホテルチェックイン
18:40 夕食懇親会
- 2日目 7:00 各自朝食・ホテルチェックアウト
8:30 晨朝勤行・晨朝法話
9:10 話し合い法座
10:20 全体会 (班別報告)
11:20 講師まとめ
11:50 閉会式

後日、各組理事へご案内いたします。
たくさんの参加をお待ちしています。

編集後記

山陰教区門徒推進会報「ともしび」第二号をお届けします。寄稿いただいた方々、編集に携わった門推理事さまに感謝申し上げます。

山陰教区門徒推進員を担当させていただいて、七年が過ぎました。その間には教区内をはじめ、教区外のたくさんの方々の門推の皆さんの出会いがあり、感心させられ、教えられることもたくさんありました。

「門推はお寺を強くする」と言われた方の言葉を思い出します。これからの寺院活動、特に山陰教区は今より厳しくなっていくでしょう。門推さん一人ひとりが必要とされ、輝きを大切にしながら、お寺を強く、そして一緒に守っていくことがこれから大切になると思います。

私事ですがこの度、六月末日にて退職させていただくこととなりました。皆さまのご活躍を見守りつつ、私も一僧侶として法義繁盛に務めたいと思います。

本当にお世話になりました。教区門推の皆さまに謹んで御礼申し上げます。

【担当者】

